

(宛先) 前橋市公営企業管理者

日付は記入せず提出してください。

申請者 住所 前橋市〇〇町〇〇-〇
 (責任者) 氏名 前橋 太郎
 電話番号 027 - (898) - 3075
 携帯番号 090 - (****) - ****

交 付 申 請 書 兼 誓 約 書

令和8年度前橋市合併処理浄化槽設置整備費補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。また、私は、暴力団等の反社会的勢力又は反社会的勢力と関係を有する者ではないことを誓約します。

1 設置場所	前橋市 〇〇町〇〇 - 〇	
2 浄化槽の名称・人槽・消費電力	名称 フジクリーン CA-7	7 人槽 消費電力 55 W
3 交付申請金額	(1) 建替・増築 [建築確認又は都市計画区域外において、新築] (2) 転換 又は10㎡を超える建築を伴う浄化槽設置工事	
	金 660,000 円	補助額 460,000 円 宅内配管費補助額 200,000 円
4 住宅の種類	(1) 個人専用住宅	
	(2) 店舗併用住宅 (延床面積 ㎡)	居住部分の面積 ㎡ その他の面積 ㎡
5 住宅等の所有者	(1) 本人 (2) 共有 (本人含む 人)	
6 浄化槽設置工事施工業者	(株) 〇〇水道工事	TEL 123-456-7891
7 浄化槽設置工事予定工期	令和〇 年 5 月 1 日 ~ 令和〇 年 9 月 30 日	
8 住宅建設工事予定工期	年 月 日 ~ 年 月 日	
	(1) 撤去等済 (添付書類⑫~⑮のうち該当するものを添付してください。)	
9 単独処理浄化槽等の撤去等予定工期	(2) 撤去等予定 令和〇 年 5 月 1 日 ~ 令和〇 年 9 月 30 日	
10 単独処理浄化槽等の種類	(1) 単独処理浄化槽 (2) くみ取り槽	
11 添付書類	①収支予算書 ②設置場所の案内図 ③浄化槽設置届書の写し又は建築確認通知書(建築確認済証及び浄化槽仕様書)の写し ④合併処理浄化槽登録証の写し、登録浄化槽管理票(C票)、小型合併処理浄化槽機能保証制度に基づく保証登録証(市町村用) ⑤プロワ仕様書 ⑥施工前の現況図(敷地内の全ての建物と単独処理浄化槽等の配置図及び排水配管図 転換の場合) ⑦敷地内の全ての建物と合併処理浄化槽の配置図及び排水配管図並びに全ての階の平面図 ⑧浄化槽購入費及び設置工事費の見積書の写し ⑨浄化槽設備士免状の写し ⑩市(区町村)税に滞納がないことの証明書 ⑪誓約書 ⑫単独処理浄化槽等の既設状況の写真 以下既設の状況に応じて ⑬浄化槽使用廃止届出書の写し ⑭単独処理浄化槽等の撤去後の状況及び撤去物の写真 ⑮処分等の状況が確認できる写真等 ⑯雨水貯留槽への改造が確認できる写真 その他公営企業管理者が必要と認める書類(承諾書、委任状、既成底版コンクリート(プレキャスト)使用に伴う関係書類等)	

添付書類の詳細については、前橋市合併処理浄化槽設置整備費補助事業の手引きをご覧ください。

収入の部

区分	金額	備考欄
補助額	150,000 円	
自己資金等	950,000 円	
(ア) 合計	1,100,000 円	

支出の部

単独浄化槽等の撤去費などは除いた金額を記入してください。

区分	金額	備考欄
本体価格	600,000 円	
設置工事費	400,000 円	
消費税	100,000 円	
(ア) 合計	1,100,000 円	

合計が合致するように記入してください。

補助金額の計算

様式第1号「交付申請金額」と合致するように記入してください。

(ア) 事業費予算額	(イ) 補助額	(ウ) 補助金額 (交付申請金額)
1,100,000 円	150,000 円	150,000 円

(ウ)の補助金額は、(ア)の事業費予算額と(イ)の補助額を比較して、少ない方の金額を記入してください。

収入の部

転換

区 分	金 額	備 考 欄
(イ) 補 助 額	460,000 円	
宅 内 配 管 費 補 助 額	200,000 円	
自 己 資 金 等	500,000 円	
合 計	1,210,000 円	

支出の部

単独浄化槽等の撤去費などは除いた金額を記入してください。

区 分	金 額	備 考 欄
本 体 価 格 (浄 化 槽)	400,000 円	}
設 置 工 事 費	200,000 円	
消 費 税	60,000 円	
本 体 価 格 (宅 内 配 管)	200,000 円	}
設 置 工 事 費	300,000 円	
消 費 税	50,000 円	
合 計	1,210,000 円	

合計が合致するように記入してください。

補助金額の計算

様式第1号「交付申請金額」と合致するように記入してください。

(ア)浄化槽設置費予算額	(イ)補助額	(ウ)宅内配管費予算額	宅内配管費補助額
660,000 円	460,000 円	550,000 円	200,000 円
			(エ)補助金額 (交付申請金額)
			660,000 円

(エ)の補助金額は、(ア)の浄化槽設置費予算額と(イ)の補助額の低い方の金額に(ウ)の宅内配管費予算額と宅内配管費補助額の低い方の金額を加算してください。

年 月 日

(宛先) 前橋市公営企業管理者

日付は記入せず提出してください。

補助対象者	住 所	前橋市〇〇町〇〇 - 〇
(責任者)	氏 名	前橋 太郎
	電話番号	027 - 898 - 3075
	携帯番号	090 - (***) - ****

交付決定通知書に記載のある日付及び文書番号を記入してください。

実 績 報 告 書

令和××年×月×日付け前橋市水道局指令(下整)第×-××号により補助金の

交付決定のあった令和8年度前橋市合併処理浄化槽設置整備費補助金の事業実績について、下記のとおり報告します。

維持管理については浄化槽法の定めるとおり必ず実施することを誓約します。また、維持管理のうち法定検査(第7・11条検査)の結果について、公営企業管理者が必要に応じて、検査結果を補助事業者等又は関連する検査機関に請求し、取得することについて同意します。

交付決定通知書に記載のある交付決定金額を記入してください。

記

1 補助金交付決定額 金 660,000 円

2 単独処理浄化槽等の撤去等及び合併処理浄化槽設置工事完了日 令和×年×月××日

3 添付書類

- (1) 収支決算書
- (2) 合併処理浄化槽購入費及び設置工事費の領収書又は請求書の写し(宅内配管費補助を申請している場合は宅内配管費補助分を含む)
- (3) 浄化槽保守点検及び浄化槽清掃の業務委託契約書の写し(契約書に浄化槽の法定検査(法第11条)手数料が記載されているもの)
- (4) 浄化槽法定検査申込書(7条検査)の写し
- (5) 施工後の図面(敷地内の全ての建物と合併処理浄化槽の配置図及び排水配管図転換の場合)
- (6) 設置工事施工管理確認書(浄化槽設備士が確認し証明したもの)
- (7) 施工状況を証する写真(市が指定する構図の写真)

【交付申請時に提出できなかった場合】

- (8) 浄化槽使用廃止届出書の写し
- (9) 単独処理浄化槽等の撤去後の状況及び撤去物が確認できる写真(市が指定する構図の写真)
- (10) 処分等の状況が確認できる写真等(市が指定する構図の写真)
- (11) 単独処理浄化槽等を雨水貯留槽に改造したことが確認できる写真
- (12) その他公営企業管理者が必要と認める書類

収入の部

区 分	金 額	備 考 欄
補 助 額	150,000 円	
自 己 資 金 等	950,000 円	
(ア) 合 計	1,100,000 円	

支出の部

単独浄化槽等の撤去費などは除いた金額を記入してください。

区 分	金 額	備 考 欄
本 体 価 格	600,000 円	
設 置 工 事 費	400,000 円	
消 費 税	100,000 円	
(ア) 合 計	1,100,000 円	

合計が合致するよう記入してください。

補助金額の計算

様式第6号の「補助金交付決定額」と合致するよう記入してください。

(ア)事業費決算額	(イ)補助額	(ウ)補助金額
1,100,000 円	150,000 円	150,000 円

(ウ)の補助金額は、(ア)の事業費決算額と(イ)の補助額を比較して、少ない方の金額を記入してください。

収入の部

転換

区 分	金 額	備 考 欄
(イ) 補 助 額	460,000 円	
宅 内 配 管 費 補 助 額	200,000 円	
自 己 資 金 等	500,000 円	
合 計	1,210,000 円	

支出の部

単独浄化槽等の撤去費などは除いた金額を記入してください。

区 分	金 額	備 考 欄
本 体 価 格 (浄 化 槽)	400,000 円	}
設 置 工 事 費	200,000 円	
消 費 税	60,000 円	
本 体 価 格 (宅 内 配 管)	200,000 円	}
設 置 工 事 費	300,000 円	
消 費 税	50,000 円	
合 計	1,210,000 円	

合計が合致するよう記入してください。

補助金額の計算

様式第6号「補助金交付決定額」と合致するよう記入してください。

(ア)浄化槽設置費決算額	(イ)補助額	(ウ)宅内配管費決算額	宅内配管費補助額
660,000 円	460,000 円	550,000 円	200,000 円
			(エ)補助金額
			660,000 円

(エ)の補助金額は、(ア)の浄化槽設置費決算額と(イ)の補助額の低い方の金額に(ウ)の宅内配管費決算額と宅内配管費補助額の低い方の金額を加算してください。

年 月 日

(宛先) 前橋市公営企業管理者

日付は記入せず提出してください。

申請者 住所 前橋市〇〇町〇〇 - 〇
(責任者) 氏名 前橋 太郎
電話番号 027 - 898 - 3075

補助金交付請求書

金額部分の訂正はできません。

令和8年度前橋市合併処理浄化槽設置整備費補助金として、次のとおり請求します。

補助金交付請求額	金	6	6	0	,	0	0	0	円
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

振込先 金融機関名等	口座名義	カナ マエバシ タロウ							
	漢字	前橋 太郎							
	口座番号	金融機関名				本・支店名			
		〇〇	銀行・組合 金庫・農協		△△	本店・支店 支所・出張所			
	口座種別	口座番号							
	1 普通	1	2	3	4	5	6	7	
	2 その他 ()								

注 振込口座は、申請者本人名義の口座をご指定ください。

添付書類 通帳の写し (口座番号及び口座名義カナが確認)

記載内容に間違いがないか確認してください。

合併処理浄化槽設置工事施工管理確認書

記載例

補助金申請者	氏名	前橋 太郎
合併処理浄化槽設置場所	前橋市	〇〇町〇〇-〇

検査項目	チェックのポイント	確認欄	備考
浄化槽本体	申請どおりの型式、人槽の浄化槽であったか。	○	
工事開始の状況	工事開始に当たっては、浄化槽の設置位置(保守点検や清掃に支障がないなど)、放流先等現場の状況を十分に把握し、適切な施工に努めたか。	○	
掘削状況	深さや地層、地下水、周辺工作物の状況などに配慮し、必要に応じて水替え工事、土留め工事を行うなど、適正な掘削工事を行ったか。	○	
割栗地業等	掘削した底面をつき固めた後に、割栗(碎石)を敷き詰め、地盤の状況に応じて基礎の沈下または変形が生じないように適正な地業を行ったか。 (割栗(碎石)地業の仕上がり厚みは100mm以上)	○	地業の厚み 100mm
捨てコンクリート	栗石地業を行った後、捨てコンクリートを所定の厚さ(50mm以上)で水平に打設し、所定の強度になるまで適切に養生したか。 プレキャストコンクリート底板使用の場合は、製品種別ごとの設計計算書等に基づき適正な設置工事を行ったか。(捨てコンクリートを打設した場合は、備考欄へ工事内容を記載)	○	捨てコンクリート厚み
基礎底盤コンクリート(現場打ちの場合)	型枠工事を行い、鉄筋を組み立て、スペーサー等により完成した配筋を適正な高さ に、水平に設置したか。 コンクリートの打ち込みは打ち上がりが均質になるように行い、所定の強度になるまで適切に養生したか。また、基礎底盤コンクリートの厚さ、広さは適正であるか。	○	配筋 D ー@ 基礎コンクリート厚
プレキャストコンクリート底板(PC板使用の場合)	既成底板コンクリート(プレキャストコンクリート底板)使用の場合は、製品種別ごとの設計計算書等に基づき適正な設置工事を行ったか。	○	PC板の厚み 100mm
本体据付	浄化槽本体を据付けた後、水張りを行い、水平を保ちつつ水じめ及び突き固めを行ったか。	○	
嵩上げの状況	嵩上げの高さは、300mm以内におさまっているか。	○	嵩上げの高さ 100mm
浄化槽本体の上部及びその周辺の状況	保守点検及び浄化槽清掃の支障となるものが周辺に置かれていないか。 型枠工事を行い、鉄筋を組み立て、スペーサー等により完成した配筋を適正な高さ に、水平に設置したか。 コンクリートの打ち込みは打ち上がりが均質になるように行い、所定の強度になるまで適切に養生したか。また、上部コンクリートスラブの厚さ、広さは適正であるか。	○ ○ ○	
漏水の有無	浄化槽内各室とも、漏水が生じていないか。	○	
接触材等の変形、破損及び固定の状況	嫌気ろ床のろ材及びばっ気槽の接触材に、変形や破損がないか。また、しっかり固定されているか。	○	
消毒設備の変形、破損及び固定の状況	消毒装置に、変形や破損がないか。また、しっかり固定され、薬剤筒は傾いていないか。	○	
ばっ気装置、逆洗装置及び汚泥移送装置の変形、破損、固定の状況	各装置に、変形や破損はないか。また、しっかり固定され、 空気の出方や水流に片寄りはないか。	○	
流入管渠及び放流管渠の勾配	汚物や汚水の停滞がないか。	○	
放流先の状況	放流口と放流水路の水位差が適切に保たれ、逆流の恐れはないか。	○	
誤接合等の有無	生活排水が全て接合されているか。 雨水や工業排水等が流入していないか。	○ ○	
柵の位置及び種類	起点、屈曲点、合流点及び一定間隔ごとに適切な柵が設置されているか。	○	
流入管渠、放流管渠、及び空気配管の変形、破損の恐れ	管の露出等により変形、破損の恐れはないか。	○	
ブロワの設置及び稼働状況	防振対策がとられ、固定が十分に行われているか。また、漏電の恐れはないか。	○	
ポンプ施設(流入ポンプ及び放流ポンプ)の設置及び稼働の状況	ポンプ柵に変形や破損、漏水の恐れはないか。 設計どおりの能力のポンプが、必要台数(2台以上)設置され、固定が十分に行われているか。また、ポンプの取り外しが可能であるか。 ポンプの位置や配管がレベルスイッチの稼働を妨げる恐れはないか。	○ ○ ○	

基礎底盤コンクリート(現場打ちの場合)に記入してください。

プレキャストコンクリート底板(PC板使用の場合)に記入してください。

ポンプ施設設置の場合に記入してください。

手書きで作成する場合は社判を押印してください。

上記のとおり確認したことを証します。

令和×年×月××日

この浄化槽設置工事を監督した浄化槽設備士氏名 水道 次郎

(浄化槽設備士免状の交付番号 第000000000号)

電話番号 027-***-****

合併処理浄化槽設置工事施工会社 (株) 〇〇水道工事

所在地 前橋市〇〇町〇-〇

会社名 (株) 〇〇水道工事

代表者 前橋 花子

電話番号 027-***-****